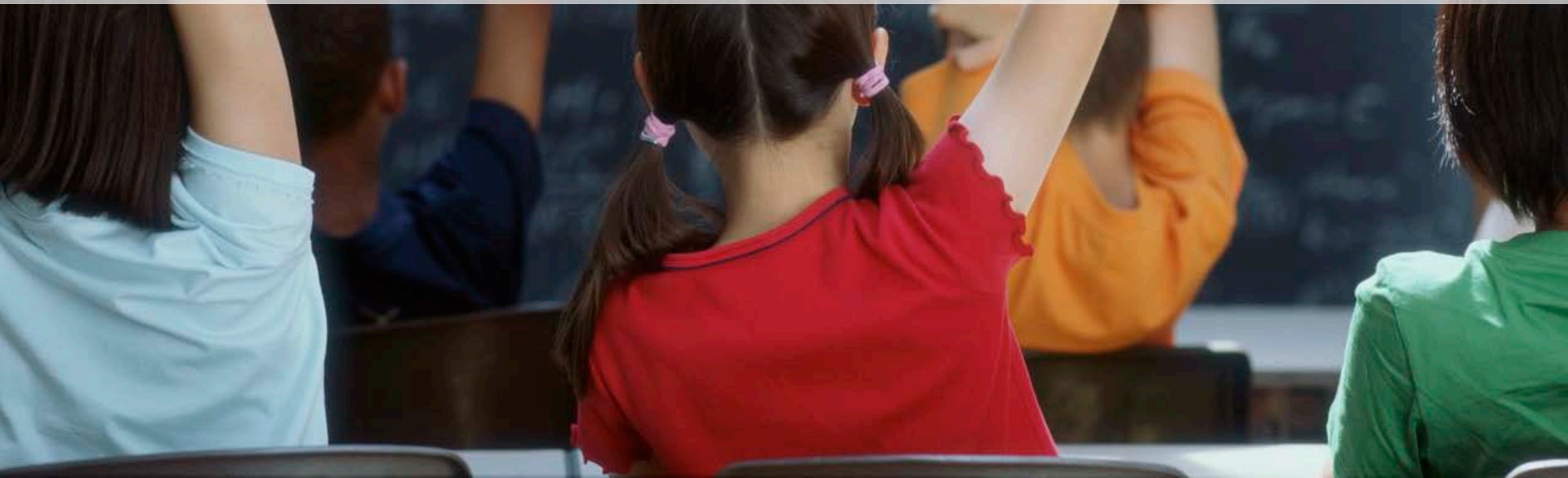
野洲市資料提供

提供年月日	平成２９年１１月２２日
担当部課	教育委員会事務局　学校教育課
担当者	木下
連絡先電話番号	０７７-５８７-６０１７

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果分析について

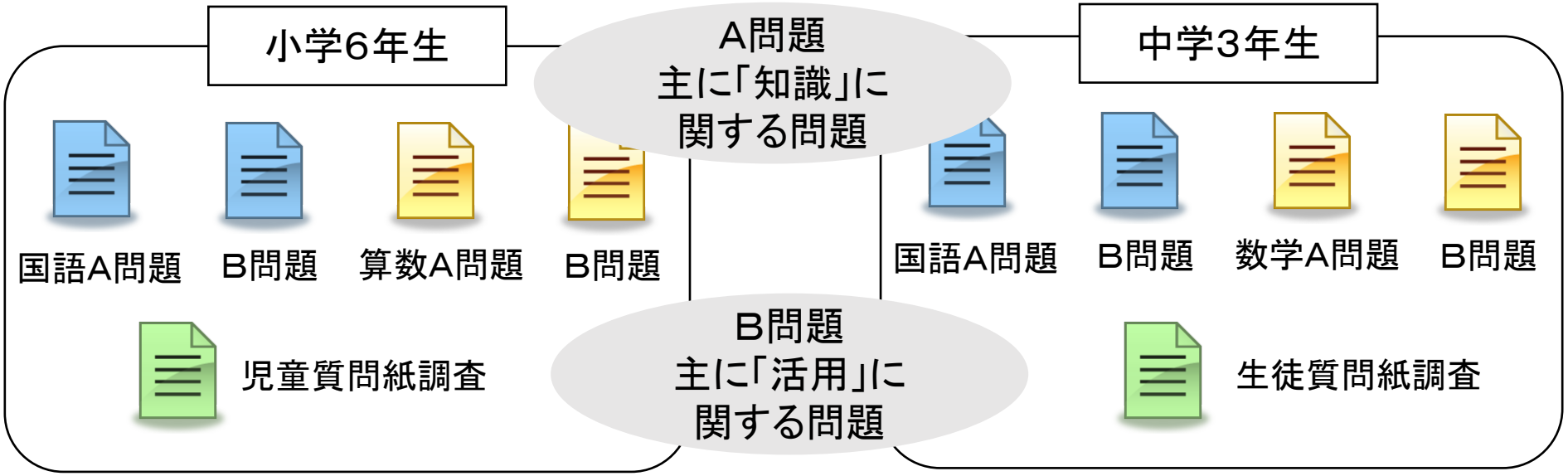
野洲市教育委員会事務局　学校教育課



全国学力・学習状況調査の概要

野洲市教育委員会

全国の公立小・中学校の小学6年生（999,683人）と中学3年生（982,511人）の結果



「本調査により測定できるのは**学力の特定の一部分**であることや，学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえるとともに，序列化や過度な競争につながらないよう十分配慮することが重要である。」（文部科学省　通知）

個人票の返却・全体の結果公表

小学校　国語Ａ問題の結果

野洲市教育委員会

漢字の読み取り

指示（野洲市平均97%）

期限（野洲市平均97．6%）

ことわざの意味

三度目の正直
（野洲市平均90．7%）

ノートに漢字を反復練習させるだけでなく、漢字の意味を正しくとらえた短文を書かせてみましょう。

漢字の書き取り

多かった誤答：対照、対像、大正

参加たいしょう （野洲市平均37%・県33%・全国42%）

手紙の後付け

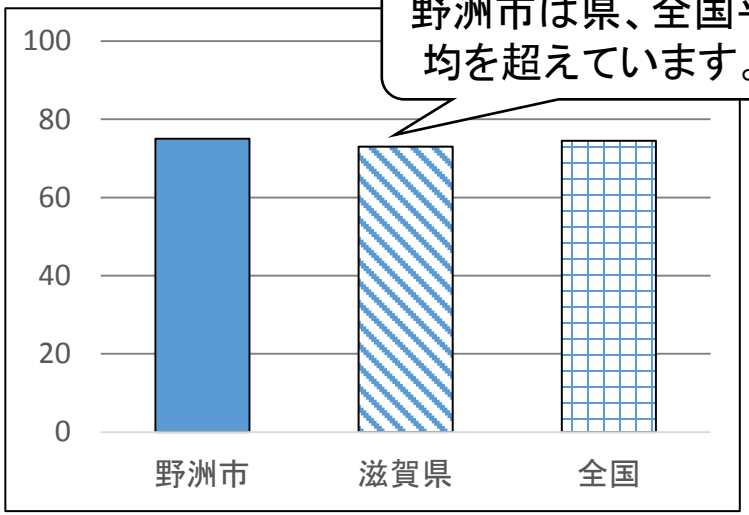
あて名、署名、日付の位置
（野洲市平均41．1%
県39．3%
全国41．5%）

あて名を最終行の上の位置に書くことで相手への敬意を示す

できている　できていない

全体的な分析

全体平均正答率



野洲市は県、全国平均を超えています。

つい手軽なメールにたよっていて、手紙を書く機会も減っていますよね。

手紙だけじゃなく、案内状や招待状など、実用的な文章を形式を意識させながら書く経験をさせていくことが大切ですね。

人から手紙が届くという経験が少なくなっていくなんて、ちょっとさみしいですね。

中学校　国語Ａ問題の結果

野洲市教育委員会

漢字の読み

覚悟（野洲市平均97.8%）
鮮やか（野洲市平均95.4%）
垂れる（野洲市平均93.4%）

条件に合った語句

知識・理解

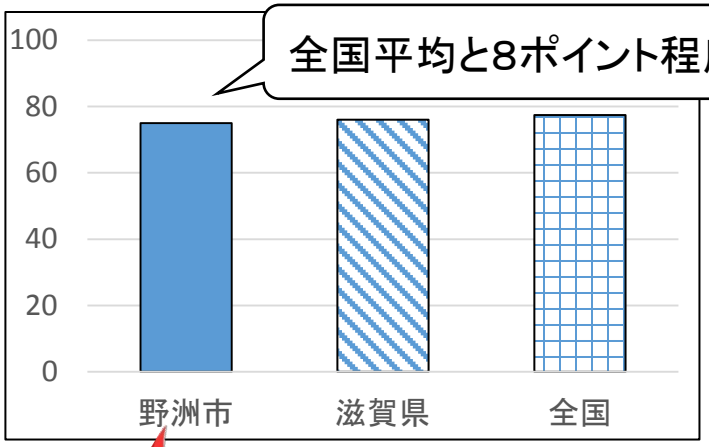
可決←□→否決（野洲市平均33.6%
県33.6%・全国35.8%）

結論がでなかったので、後でもう一度話し合うという意味の言葉を漢字三字以内で書く。

できている　できていない

全体的な分析

全体平均正答率



全国平均と8ポイント程度の差があったのは「行書」と「楷書」のちがいを問う問題でした。

なんでもパソコンでできてしまうので、
毛筆で字を書く経験も減っていますよね。

日本語には普段の生活で、メモ、ノート、記録、掲示物、看板、ポスターなど、書く目的や必要に応じて書体を変えるというよさがあることを伝えていきたいですね。

漢字の書き

漢字の問題ではあまり差がありません。

①組織のキボを大きくする（野洲市62.4%・滋賀県68．5%・全国62．8%）

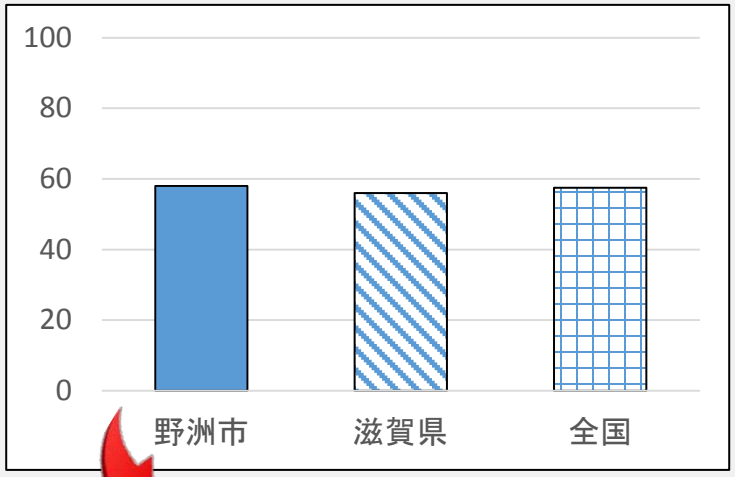
②雨で運動会がエンキになる（野洲市64%・滋賀県64．5%・全国62．3%）

③店をイトナむ（野洲市90.1%・滋賀県86．95%・全国85．4%）

小学校　国語Ｂ問題の結果

野洲市教育委員会

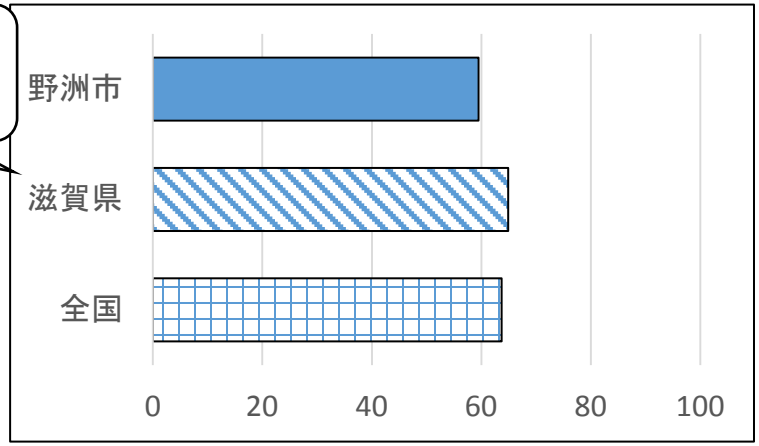
全体平均正答率



質問紙調査より

400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計



ここ数年の課題は **読んで** **書く** です！

書くことへの苦手意識がうかがえますね。

「読んで」「書く」問題の平均正答率

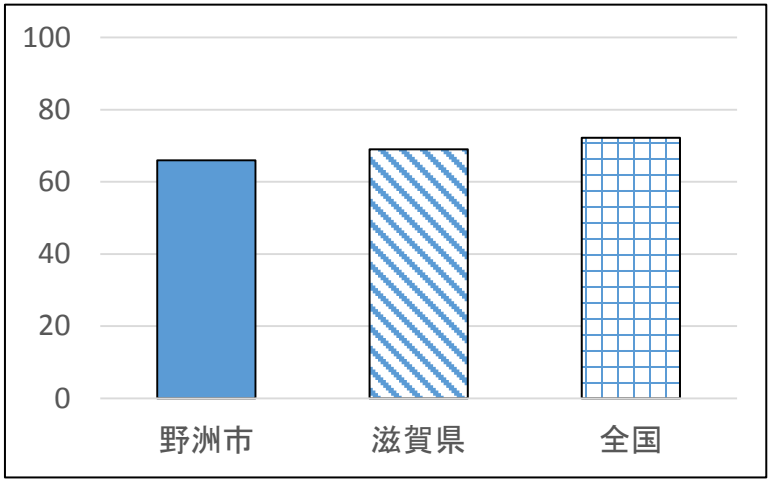
1. 500字程度の文章を読んで、読み取った内容を80字以上100字以内でまとめる。（野洲市50．7%・県48．6%・全国48．4%）
2. 300～400字程度の文章を複数読んで、目的や意図を読み取って60字以内で書く。（野洲市39．1%・県31．6%・全国33%）
3. 1800字程度の文章を読んで、文章中の叙述を根拠にして、自分の考えを60字以上100字以内で書く。（野洲市38．9%県40.9%・全国43.7%）

「書くこと」への苦手意識は、いきなり「書かせる」ことよりも、子どもたちの「伝えたい」という意欲を引き出すことから始めていきたいですね。

中学校　国語Ｂ問題の結果

野洲市教育委員会

全体平均正答率



中学生も「読んで」「書く」問題を苦手にしているようですね。

こういう問題に課題が見つかりました！

問題１

2300字程度の文章を読んで、①「心に残った一文」について条件を満たすように50字程度で　②自分の感じたこと、考えたことを70字程度で書く。

問題２

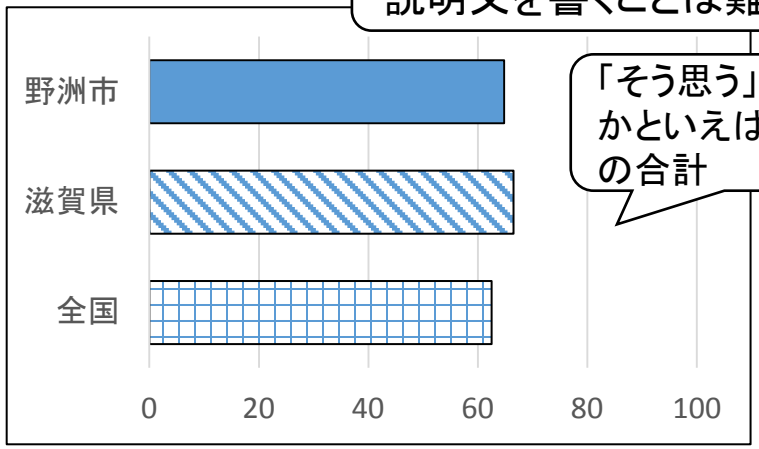
900字程度の絵、写真入り解説文を読んで、与えられた条件を満たす40字以上80字以内で答える。

問題３

太宰治の年譜や作品紹介等の資料を読んで、『走れメロス』についてアンケートする際の対象や質問を考えて、その質問にする理由を述べる。

質問紙調査より

400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか？



「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計

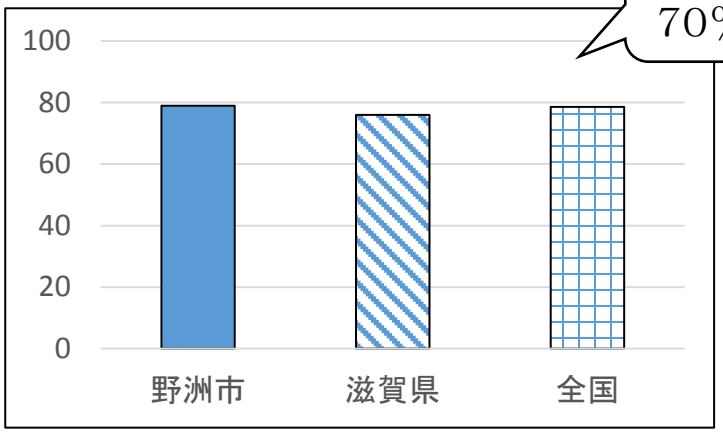
「書くこと」は、実は「読むこと」と深くつながっているようです。まずは、まとまった量の文章を億劫がらずに読めるようにしていきたいですね。

普段から読書に親しんだり、楽しんだりできるようになってほしいですね。

小学校　算数Ａ問題の結果

野洲市教育委員会

全体平均正答率



全問題中、市の正答率70％未満は4問だけです。

その4問とは・・・

1

５÷９・・・商を分数で表す（野洲市平均正答率68.3％・県64.3％・全国69.2％）

多かった誤答は、０．５５と$\frac{9}{5}$でした。

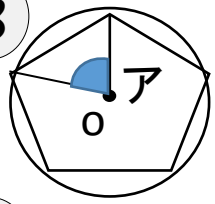
2

		ネコ		合計
		○	×	
イヌ	○			
	×			
合計				オ

表中のオに当てはまる数字を答える（野洲市平均正答率63％・県55.9％・全国62.8％）

「犬や猫を飼っている人の数を調べる」といった日常生活で使える算数も大切ですね。

3



円に接する正五角形の角度アを求める（野洲市平均正答率65．7％・県67.1％・全国75.5％）

4

高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解しているか（野洲市平均正答率66.7％・県64.3％・全国69.2％）

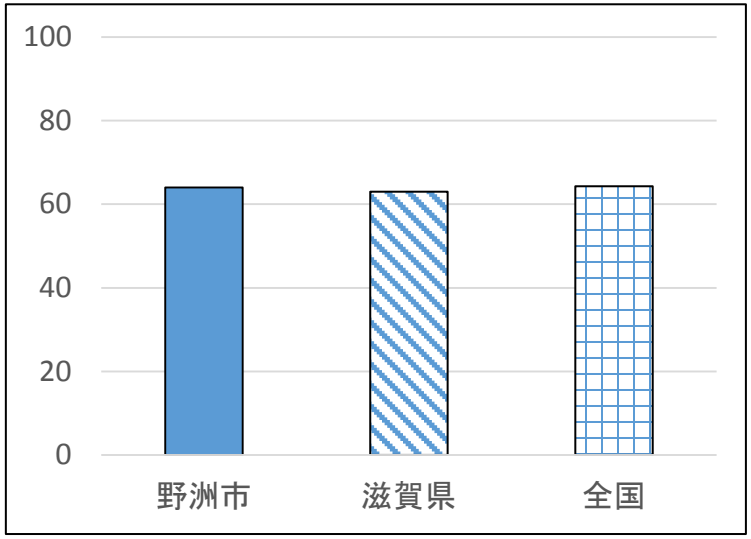
図形はイメージが大切ですが、形や空間のイメージを育てるために、小さい頃から折り紙や定規、コンパスを使って遊ぶ機会を大切にしたいですね。

中学校　数学Ａ問題の結果

野洲市教育委員会

全体平均正答率

県、全国と比較しても特に問題はなさそうだけれども・・・



野洲の中学生たちの課題は

図形　関数　資料の活用

基礎的・基本的な知識の理解

数学的な概念や意味の理解

関数

関数の意味が理解できるかどうかをみる問題（野洲市平均正答率19．2%・県17．9%・全国20．6%）

x	・・・	2	3	4	・・・
y	・・・	18	12	9	・・・

左の表の反比例 の比例定数は？（野洲市正答率39．3%県34．4%・全国34．4%）

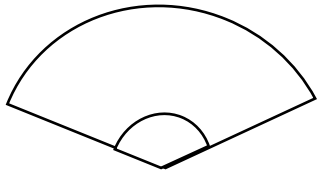
資料の活用

生徒7人の反復横とびの結果記録

40　46　47　48　53　53　56

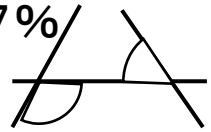
この記録の「範囲 」を問う問題（野洲市平均正答率16．4%県25．2%・全国28．6%）

図形



半径と中心角が与えられているおうぎ形の弧の長さは？（野洲市平均正答率　25．5%県29．5%・全国30．7%）

錯角の意味を理解できているかを問う問題（野洲市平均正答率44．3%・県41．7%全国43．1%）

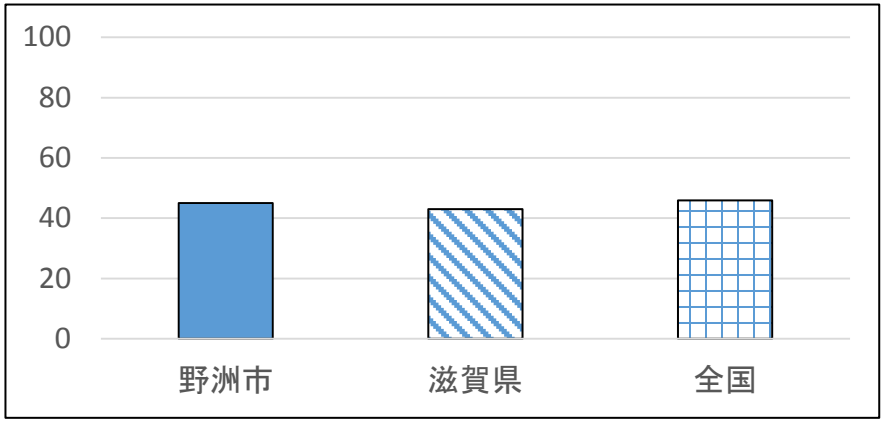


小学校　算数Ｂ問題の結果

野洲市教育委員会

全体平均正答率

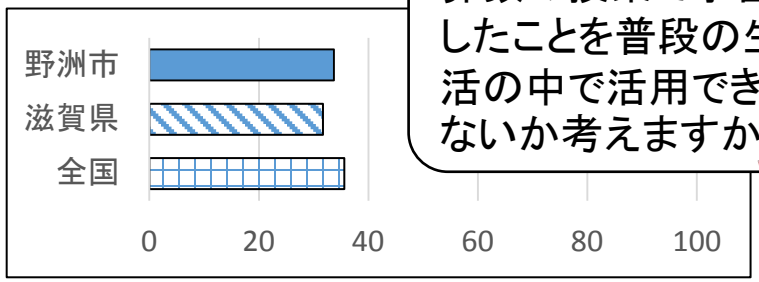
野洲市の子どもたちは、数量関係を 言葉や式で表す（答える） **のが難しい**



解き方の例も書いてあるけど、問題文も長いし、量も多いですね。

問題文の量が多いだけで、見た目にも難しそうに思ってしまうことがありますよね。

質問紙調査より



算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。

その典型的な問題は・・・

車と発射台を輪ゴムでつなぎ、車を引いて輪ゴムをのばしてから放すと車が進みます。決まった位置まで輪ゴムをのばして放した場合にどれだけ車が進むのか調べます。これを5回繰り返して、進んだ距離の平均を求めます。かずやさんは7mを越えた部分の平均を求めました。

回数	進んだ距離
1	7m52cm
2	7m31cm
3	7m54cm
4	7m20cm
5	7m43cm

（52＋31＋54＋20＋43）÷5＝40　7mに、求めた平均の40cmをたします。車が進んだ距離の平均は7m40cmです。7m20cmを越えた部分に着目した平均の求め方を、言葉や式を使って書きましょう。

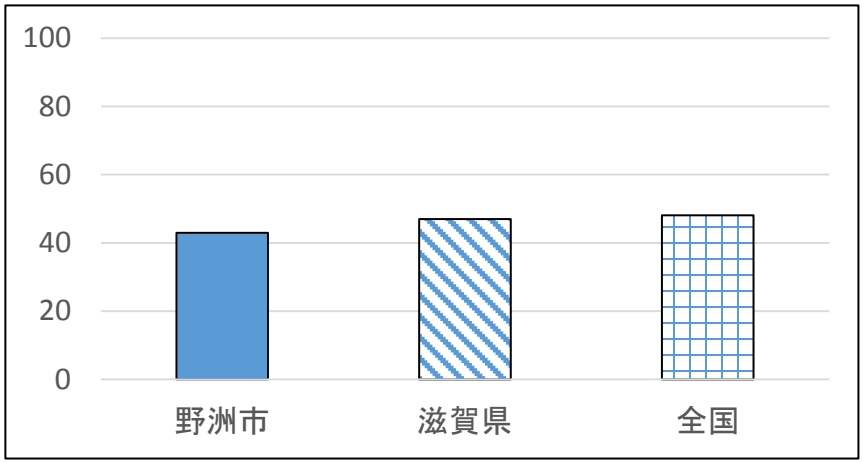
（野洲市平均正答率20．2%・県21．2%・全国26．1%）

算数の授業で学んだことは、生活や遊びの場面で「役に立つんだな」ということを実感させたいですね。

中学校　数学Ｂ問題の結果

野洲市教育委員会

全体平均正答率



野洲市ではっきり出た傾向は、・・・

小学生と同じです

理由や考え方を（言葉や式）で説明する

のが難しい・・・

普通に解いて答えを出すような数学の問題はそこそこできているんですよね。

しかし、答えを導き出した根拠や考え方を自分の言葉や数式で説明できることが、これからは求められるんですよね。

例えば

図2のように囲み方を変えてみると、六角形をn個つくるのに必要なストローの本数は、６＋５（ｎ－１）という式で表すことができます。

六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を表す式が６＋５（ｎ－１）となる理由について、下の説明を完成させなさい。
（野洲市平均正答率12%・県14．6%・全国14．5%）

図２

説明

ストローを図２のように囲むと，

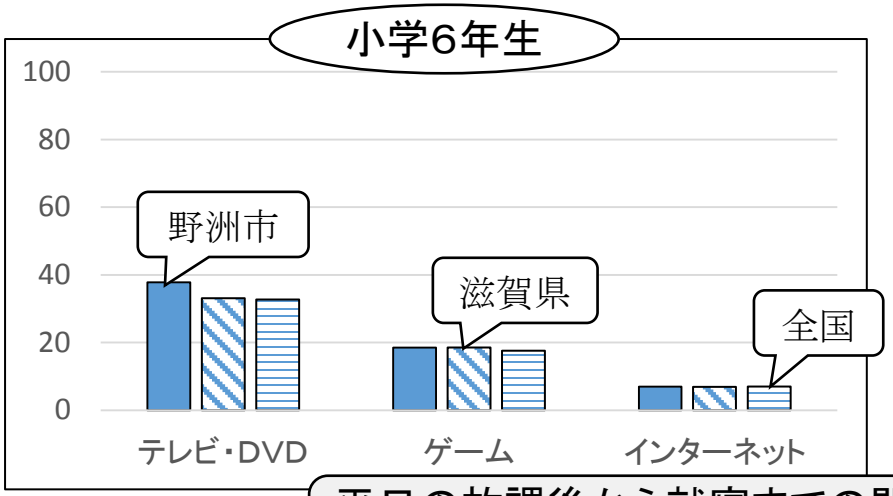
したがって，六角形を n 個つくるのに必要なストローの本数を表す式は，$6+5(n-1)$ になる。

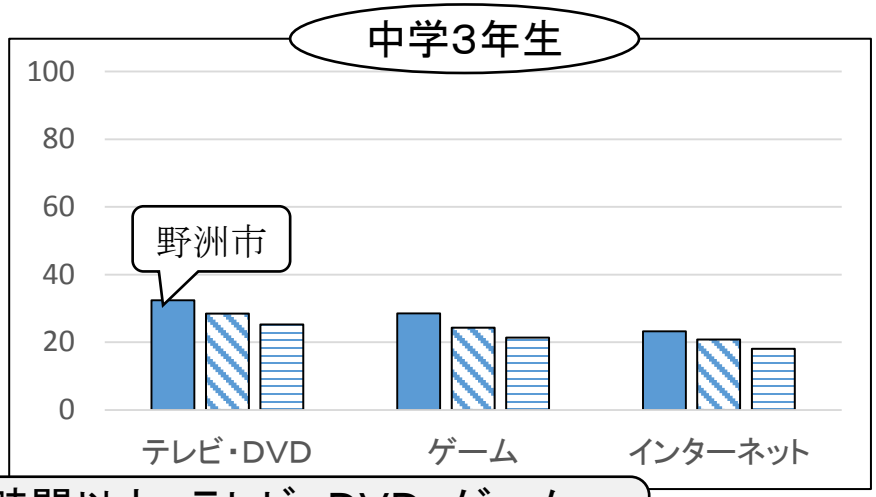
４割近くの生徒たちが無解答だということから考えると、初めから問題文を読んだり、答えたりするのをあきらめているようにもみえますね。

質問紙調査の結果　一日常生活一

野洲市教育委員会

普段（月曜日から金曜日）に1日3時間以上、テレビ・DVD、テレビゲーム・パソコン、メール・インターネットをする割合



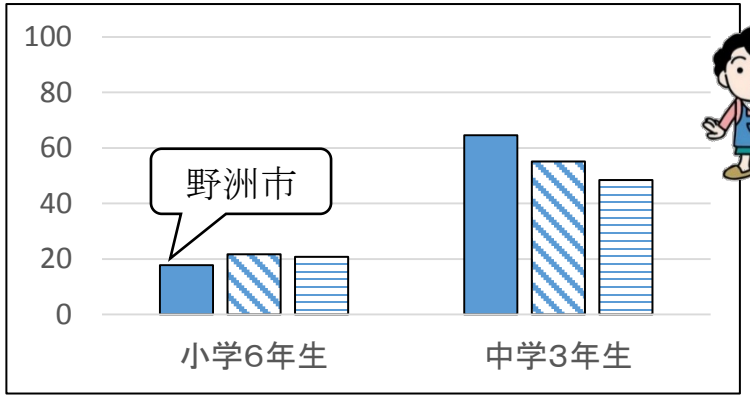


平日の放課後から就寝までの間に3時間以上、テレビ、DVD、ゲーム、スマホ、インターネットをしている小、中学生の割合の多さ

放課後や休日の過ごし方を家族の中で考えたいですね。

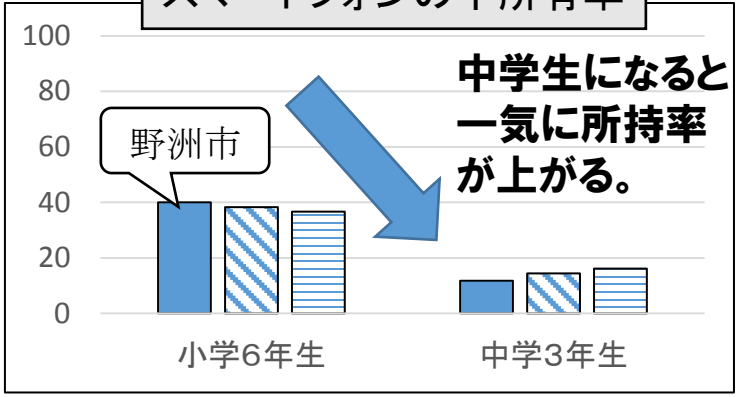
スマートフォンを持つようになるとそれを使う時間が当然増えてきますよね。

普段（月曜日から金曜日）に読書をまったくしない割合



中学生になると読書しなくなる子どもが増えていますよね。

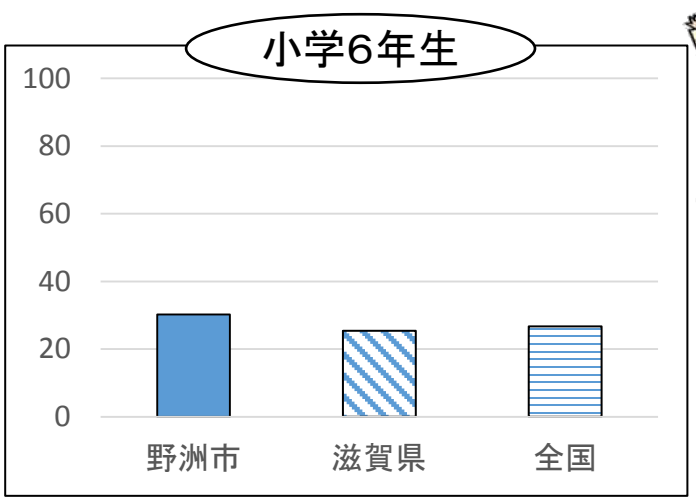
スマートフォンの不所有率



質問紙調査の結果　ー自己有用感ー

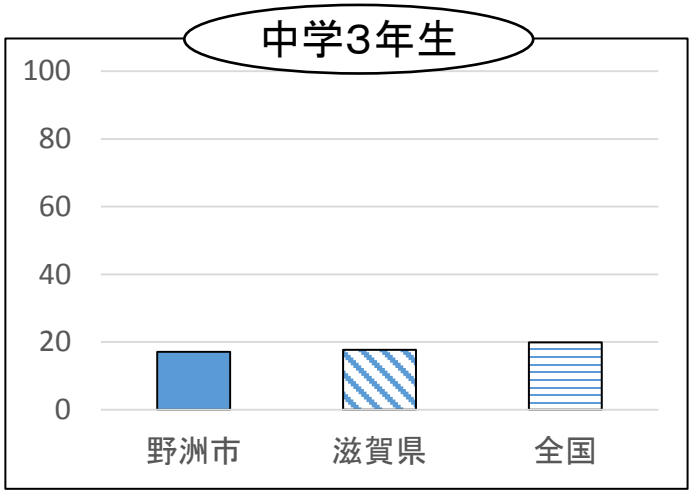
野洲市教育委員会

難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか？

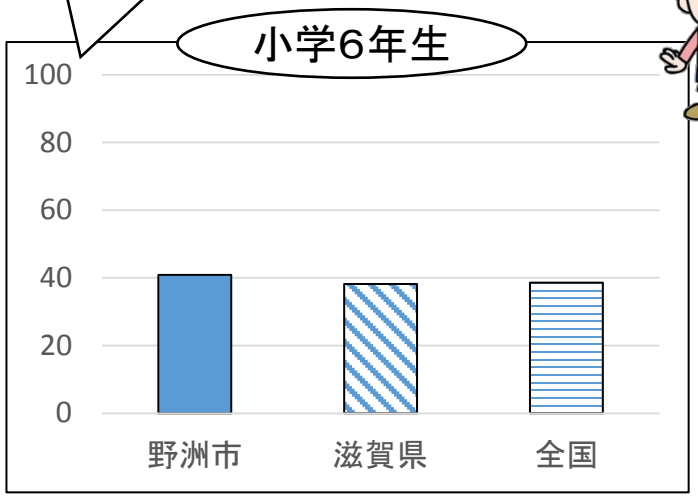


思春期の時期って、自分に自信が持てなくなりますよね。

学年が上がるにつれて、いろんな現実に直面する機会が増えますしね。

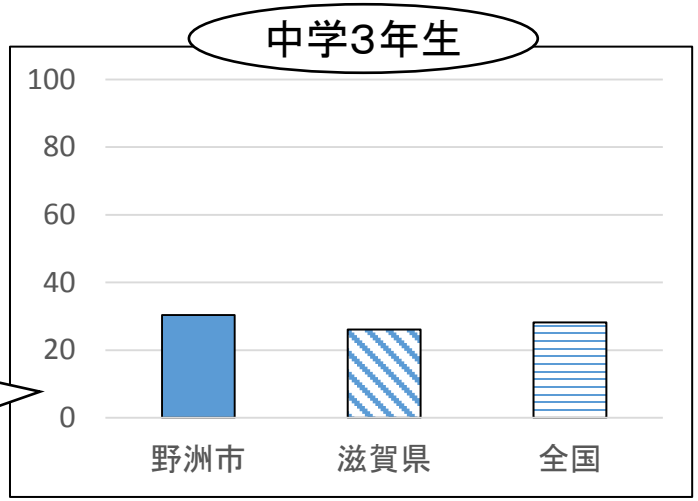


自己肯定感の高さ



そういうときに、周囲の大人が子どもたちを支えていくことが大切になりますよ。

滋賀県・全国と比較しても野洲の中学生は自己肯定感が高い

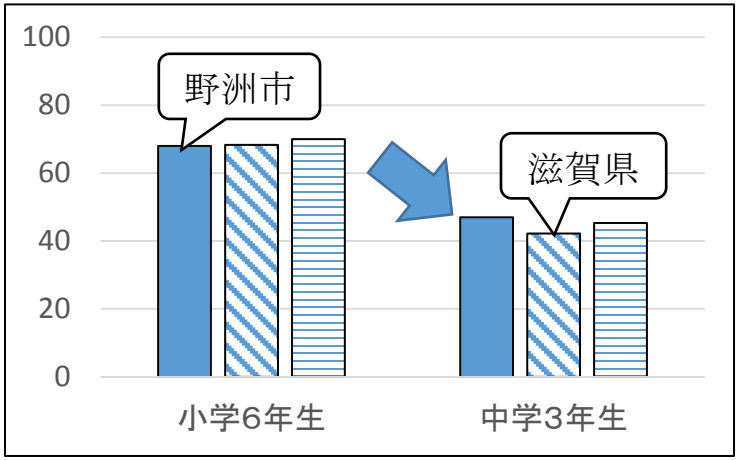


自分にはよいところがあると思いますか？

質問紙調査の結果　―将来の夢や希望―

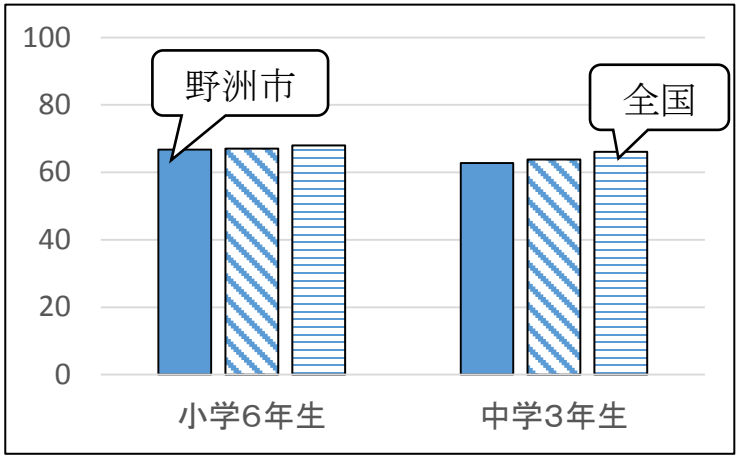
野洲市教育委員会

将来の夢や希望を持っていますか？

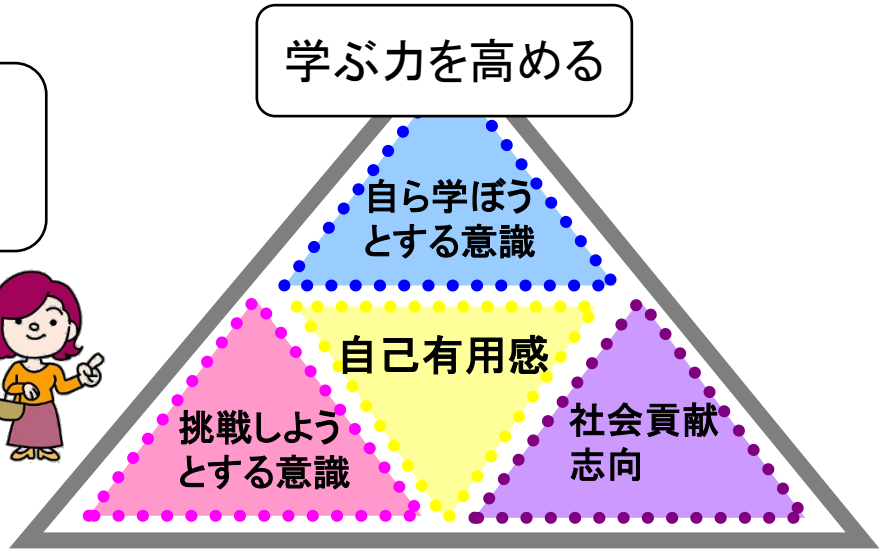


中学生になると、少し将来への展望や期待の度合いが変ってきますね。

人の役に立つ人間になりたいですか？



そんな中でも、野洲市の子どもたちの社会的な貢献志向は、滋賀県、全国と比べても同じように高いと思います。

これからも、繰り返し努力したことを認め、能力や可能性を引き出すようなかかわりを大人としていきたいですね。

子どもたちの「ちょっと大変そうだけどもがんばって挑戦してみよう」という気持ちを大人として支えていきたいと思います。